

和顔愛語

令和5年11月1日発行

(わげんあいご)：穏やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接すること
長崎市魚の町4番1号(長崎市役所新庁舎2階【こどもみらい課内])
電話：825-1949、FAX：821-1938
相談電話(こども・子育てイーカオ相談)：825-5624、822-8573



夏季研修会「配慮を要する子どもの理解」について



8月5日(土)長崎市役所2階多目的スペースを会場に長崎市少年補導委員夏季研修会を開催しました。講師として、市教育研究所の平戸健吉先生をお迎えし、「配慮を要する子どもの理解」について、ご講話いただきました。市P連会長の
大脇俊明様が来賓としてご臨席くださるなど少年補導委員に加え、保護者や学校の先生方など82名の参加があり、会場



講師の平戸健吉先生

は、ほぼ満席の状態となりました。参加者の感想をいくつか紹介します。

○発達障害についてよく分かりました。行動を3つに分類する「いいね行動」「よくないね行動」「あぶないよ行動」は、学校教育だけでなく家庭での子どもの接し方としても、とても大切なことだと思いました。自分の子育てでもそうしていればよかったと反省しました。問題を起こしている子どもに対して、なぜ?と、どういう背景があるのか考える、理解する、認めることが大切だと思いました。(補導委員)

○褒めることの大切さ、子どもだけでなく大人に対しても肯定することの難しさを日々感じています。今日の講演を頭にしっかり入れ、家族との接し方や友人関係に活かしていきたいと思います。何度となく配慮を要する子どもたちの話を聞きますが、何度聞いても難しい!!こちらがゆっくりと落ち着いて対応していかなければ、と思いました。(補導委員)

○今までにもこのような研修を受けたことがありますが、とても分かりやすく勉強になりました。(指導に当たる人、保護者等)同じように支援を行わなければならないということがとても大切であることをあらためて考えさせられました。また、理由や理解の共有、決めつけず、背景や要因などにも目を向けることで対応も変わり、本人にとっても安心できる環境と支援につながるのだと思いました。(PTA)



○理解されずに苦しむ子どもたちを少しでも減らすためには、大人が情報として知っていることも重要だと感じました。また、親の発達障害のために苦しんでいる子どもたちが多いことも感じています。このような研修会を実施することはとても重要だと思いました。(補導委員)

○教育関係者(専門家)ではない方々に、このような講話を聞いてもらうことは、とても大切なことだと思いました。特別な支援を受けられなかったばかりに二次障害を起こしてしまい、本人や家族、周りの人が非常に苦しい思いをすることがあるのではないかと心配になりました。多くの人が、発達障害について学ぶ必要があると思いますので、このような機会は貴重だと思います。(教員)

久しぶりの開催で大盛況の中、「おくんち特別補導」を実施

秋の大祭『ながさきくんち』が10月7日から開催されました。天候に恵まれなかった日もありましたが、久しぶりの開催ということもあり、街中が大いに盛り上がりました。

そのような中で、長崎市少年補導委員協議会も4年ぶりとなる「おくんち特別補導」を7日に実施しました。今回は、土曜日からの開催ということもあり、子どもたちに早めの帰宅を促すことや補導委員の負担を増やすことなく巡回する時間帯をできるだけ長く設定したいと考え、補導開始時刻を①17:30～②18:30～



③19:30～の3パターン設定し、この中から各校区の実情に合わせて実施していただきました。当日の人出は想像以上で、元船町交番横に待機していたセンター職員が確認できたのは26校区約100名の補導委員の巡回でした。(別日実施や未確認校区は除く) 補導活動に参加いただいた皆さま、たいへんお疲れ様でした。 ※年末年始特別補導は12/22～1/8の予定です。

「不登校・ひきこもり」「虐待・ヤングケアラー」について考える

長崎市における青少年の現状を把握し、関係行政機関相互の連携調整を図りながら、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関わる必要事項を総合的に協議し、その実施に努めることを目的として、本年度1回目の長崎市青少年問題協議会を、8月21日に開催しました。今回はこれまでの協議で取り上げてきた「不登校・ひきこもり」「虐待・ヤングケアラー」の2つを柱として、関係各課の取組が紹介された後、さまざまな分野から選任された委員の皆さまが現状把握と新たな課題について協議を行いました。今回出された質問や意見をもとに、年度後半に開催する第2回協議会で、さらに協議を深めていく予定です。



長崎県「ココロねっこ運動強調月間」

内閣府の「子ども若者育成支援全国強調月間」に伴い、長崎県では11月を家庭・学校・地域社会・行政が一体となり、大人のあり方を見直し、社会全体で子どもを健やかに育む県民運動「ココロねっこ運動」の強調月間として全県的に取り組むこととしています。少年センターにおいても環境浄化活動の一つとしてコンビニやドラッグストアなどを訪問する「社会環境実態調査」に重点的に取り組みます。

【少年補導委員の皆さまへ ～少年センターからの配付物をeメール添付にできないか～】

前号で「センターだより」のeメール添付による配信希望についてお知らせしましたが、少年センターでは、「補導報告書のまとめ」や「子ども安全注意報」などについても、迅速で鮮明な情報提供、紙資源の節約や郵送費の削減などを目的として、eメールでの配信に切り替えていけないか検討しているところです。もちろん、情報通信機器の状況や受信環境などによりeメール配信への切り替えが難しい場合もあることは承知しておりますので、すべての補導委員の皆さまにeメール配信を強要するつもりはありません。可能な方から変更していただくことを念頭に今後さらに検討を重ねていきたいと思っております。(山鹿)

☆小崎会長のブログ「長崎市少年補導委員協議会Ⅱ」：<http://shuzousan.livedoor.blog/>
「長崎のお節介虫Ⅱ」：<http://shuzousan2.blog.jp/>